



発行所 千107-0052 東京都港区赤坂7丁目5番38号 社団法人 日本PTA全国協議会 発行人 相川 敬 電話 03(5545)7151 FAX. 03(5545)7152 ホームページアドレス http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領 本会は教育を本旨とする民主的団体であり、不偏不党・自主独立の性格を堅持し、PTAの健全な発展の維持、並びに青少年の幸福な成長を図ることを目的とする。

主な内容 1面 通常総会 2面 新会長あいさつ 新役員紹介 3面 広報紙コンクール結果発表 4面 子どもメディア 県P自慢 5面 学校の窓から 日中友好 6面 文部科学省のページ 7面 文部科学省のページ 8面 みやぎ大会 推薦映画

子どもたちにより良い未来を

平成21年度 通常総会開かる

「子育ては家庭から」

社団法人日本PTA全国協議会、平成21年度通常総会が、6月26日、東京都港区のホテルプロシオン青山にて開催された。会場には、全国から都道府県、政令指定都市61協議会の代表が集まった。



曾我会長あいさつ

開催に先立ち、曾我会長から日本PTAを支援している方々に感謝の言葉を述べられた。会長挨拶・要約

本日はお忙しい中、日頃から日本PTAを支援していただいている皆さまの皆さまにご列席いただき、総会を開催できることを厚く御礼申し上げます。昨年度は、文部科学大臣には、たいへんお忙しい中、皇太子同妃両陛下と共に、日本PTAの60周年にご臨席を賜り、お祝いいただきました。私は、前赤田会長をはじめ歴代会長が作ってくださった日本PTAを、未来を担う世代に継承させるための努力をいたしました。その1年間での大きなものが青い全国大会、今申し上げた日本PTA 60周年、金婚式、幅の広い課題、携帯問題などがより長い未来を過ごすことができないための就学環境の改善に向けていかねばならないと思っております。PTAの根幹でもある家庭を、きちんと復権して「子育ては家庭から」この部分をもう一度胸に手を当てて考え、そして塩谷文科大臣からいただいた「親心育心」の提議、心を育む「その心」の中にいれ、われわれが、何をなすべきか、何をなすべきかを見つめたい。今後、日本PTAの方向性を導いていきたいと思います。

地方分権も大事でございませう。その意味では、引揚会議のそれぞれの主張を受け止め、しかしながら、全国を決定する部分に関しては日本PTAで、全国の子どもたちという視点で議論いただき、今後日本PTAをもうひとつと、より良い方向に導いていきたいと思います。今日後は塩谷文科大臣に挨拶をいたしたき、清水生涯学習政策局長に講話をいただくことになりました。各協議会会長にお願いする点にはなりますが、日本PTAが国やそれを支える団体とお話することばかりで、日本全国の子どもたちを守っていくという思いがあります。

祝辞 文部科学大臣 塩谷 立氏 平成21年度社団法人日本PTA全国協議会通常総会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。皆様におかれましては、日ごろより熱心なPTA活動に取り組まれています。また、教育行政に御理解、御協力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。昨年、約60年が経過した日本PTAを踏まえ、教育の充実に向け様々な施策を推進してまいりたいと思っております。中でも、小中学習指導要領が改訂され、本年4月から各学校で準備を進めています。高等学校と特別支援学校の学習指導要領も本年改訂され、いよいよ本格的な教育がスタートすると見られます。今後、教職

社会的自立に向けた教育を旨として 文部科学省生涯学習政策局長 清水 潔氏 本日は「社会的自立に向けた教育を旨として」と題して講話させていただきます。



清水潔氏

第一のテーマは、教育安心のあり方について、教育安心の実現という観点から大筋の視座を提示させていただきます。「教育安心の実現に関する懸念点について」教育安心の問題は同時に格差の再生産の問題でもあり、全ての子どもたちが安心して教育を受けることができる社会を実現するために、教育の負担と質の

たいと考えています。また、昨今の経済危機のもとで、家庭の経済状況の格差が進学機会や学力の格差につながるのではないかと懸念されるようになってきました。このための補正予算では、小中学生に対する就学補助や、高校生の授業料減免や奨学金など、教育費負担の緊急支援を行うこととしております。PTAの皆様におかれましては、各学校での支援制度の周知、各協力で頂きますようお願い申し上げます。また、PTAの皆様には、「早稲早起朝明は国民運動」や、今年度実施しております「親子で、PTA全国協議会の一層の発展を祈念いたしました」の推進、また、学校を地域域本部や放課後子ども教室として活用してまいります。



塩谷立文部科学大臣

最後に、本日はお集まりの皆さまの御出席と社団法人日本PTA全国協議会の一層の発展を祈念いたしました。PTAの根幹でもある家庭を、きちんと復権して「子育ては家庭から」この部分をもう一度胸に手を当てて考え、そして塩谷文科大臣からいただいた「親心育心」の提議、心を育む「その心」の中にいれ、われわれが、何をなすべきか、何をなすべきかを見つめたい。今後、日本PTAの方向性を導いていきたいと思います。今日後は塩谷文科大臣に挨拶をいたしたき、清水生涯学習政策局長に講話をいただくことになりました。各協議会会長にお願いする点にはなりますが、日本PTAが国やそれを支える団体とお話することばかりで、日本全国の子どもたちを守っていくという思いがあります。

会長に相川敬氏 (千葉市P) 議事はすべて承認 挨拶・祝辞、講話終了後、が承認された。提出された議事は、以下の通り。 ○平成21年度事業報告 ○平成20年度決算報告 ○平成20年度監査報告 ○平成21年度基本方針・活動目標、事業計画(案)について ○平成21年度収支予算案について ○平成21年度総会宣言・決議案について ○平成21年度役員選任について

最近の学校は、教師の負担が非常に重くなっている。親も毎日生活している。学校生活は、子どもにとって非常に大切な時間である。PTAは、親と教師の間に橋渡しをする役割がある。PTAは、子どもを育てるために、親と教師と協力して取り組んでいく必要がある。PTAは、子どもを育てるために、親と教師と協力して取り組んでいく必要がある。

まざし 最近の学校は、教師の負担が非常に重くなっている。親も毎日生活している。学校生活は、子どもにとって非常に大切な時間である。PTAは、親と教師の間に橋渡しをする役割がある。PTAは、子どもを育てるために、親と教師と協力して取り組んでいく必要がある。PTAは、子どもを育てるために、親と教師と協力して取り組んでいく必要がある。

本紙は各校PTAに四部、内訳として「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局用」を目安にしています。

子どもたちが安心して楽しく学べる環境づくりを!

新会長あいさつ

(社)日本PTA全国協議会会長



相川 敬

子どもたちは家庭・学校・地域社会で多くの人々と関わり、その中で成長してまいります。子どもたちの規範意識や自己統制力が低下していると言われていますが、それは私たち大人の責任です。

人は人と出会い、話し合い、互いに理解し、そのようなかから思いやる気持ち・協力し合う心・助け合う心が自然に培われていくものでしょう。

子どもは親をはじめとする大人の姿を見て育ちます。地域から私たち大人がその姿を範として示してあげることが大切なことではないでしょうか。

私は、61年目を迎える今年を「社団法人日本PTA全国協議会創立90周年」として、平成21年6月10日(水)午後10時30分から正午まで、東京都千代田区紀尾井町の民放連5階の第1会議室で開かれました。

懇談会は、民放連から放送と青少年問題特別委員会委員・放送と青少年問題特別委員会事務局の各部長と事務局長あわせて22名が、日本PTAから会長・副会長など10名が出陣し、予定の時間を越え活発な意見交換が行われ、非常に有意義な懇談会となりました。

懇談会終了後、在京各社の代表者によるテレビメディアの青少年の健全育成への配慮に関する要請書(下記参照)を会長から手渡し、閉会しました。

「付言」日本PTA全国協議会、児童生徒に多大な影響を及ぼすテレビメディアの広告、インターネット等広範なメディアに対し、今後単なる関心を惹きつけるだけの宣伝活動から、児童生徒の健全育成の観点から好ましくない番組等コンテンツについて関係団体にも呼びかけ、内容改善のための議論形成を努めます。

また、利己主義の行き過ぎから、強調しながら守っていかねばならない大切なものまで失いかけていくと言われています。世の中が成熟するにつれ、総てを合理的に捉えがちになり、子どもの教育でもお母さん・最短距離を求めたがります。子育てに近道はないのです。子育てに近道はないのです。たとえ時間がかかる道であっても、それは生きる力をより高める経験を得る良い機会になるのです。

さて、社団法人日本PTA全国協議会は昨年創立90周年を迎えました。多くの先人がその時代、その時代の様々な問題に対し果敢と取組む姿は我々現役の世代を強く揺り動かす連帯の精神の継承は不可欠のものと感じました。しかしながら、PTA安全共済の保険

平成21年度 新役員・理事・監事紹介

- (会長) 加藤 秀次(仙台市) 八木 正広(東京都中野区) 保坂 好一(千葉県) 安田 渡(横浜市) 松野 守男(岐阜県) 坂口 一美(大阪府) 川崎 裕司(鳥取県) 山崎 宏(鳥取県) 木戸 義彦(北九州市) 森田 優二(熊本県)
- (副会長) 相川 敬(千葉市) 遠藤 正明(山形県) 天野 一(山梨県) 土井 淳宏(和歌山県) 友石 晃由(愛媛県)
- (専務理事) 林 久嗣(富山県)
- (常務理事) 久米井孝夫(大阪府) 坂井 恵亮(福岡県)
- (監事) 渡部 徳章(北海道) 渡辺 紀子(さいたま市) 木村 正俊(福井県) 正田 敏明(福岡市)

常任幹事会 常置委員会 報告

- 1. 業務報告(5月、6月)
- 2. 17日の職務分担及び会長の職務代理者の指名、顧問・相談役の委嘱について
- 3. 常置委員会の報告
- 4. 広報紙コンクールについて
- 5. 全国研究大会みやぎ大会について
- 6. 全国研究大会ちば大会について
- 7. その他

民放連との懇談会



民放連と懇談会

平成9年から始まり、今年で13回目となる日本PTAと社団法人日本民間放送連盟(民放連)との懇談会が、平成21年6月10日(水)午後10時30分から正午まで、東京都千代田区紀尾井町の民放連5階の第1会議室で開かれました。懇談会は、民放連を代表して山本雅弘毎日放送会長(民放連放送基準審議会議長・放送と青少年問題特別委員長)と青少年問題特別委員長あわせて22名が、日本PTAから会長・副会長など10名が出陣し、予定の時間を越え活発な意見交換が行われ、非常に有意義な懇談会となりました。

事務局連絡会

- 1. 日本PTA会費値上げについて
- 2. 平成21年度事業について
- 3. 今年度の日程について
- 4. 平成21年度表彰式について
- 5. 広報紙コンクールについて
- 6. たのしい子育て全国キャンペーンについて
- 7. 日中友好「少年少女の翼」について
- 8. 資料作成PTA実践事例集について
- 9. 調査について
- 10. ①教育改革についての意識調査
- ②メディアに関するアンケート調査
- 11. 第57回全国研究大会みやぎ大会について
- 12. 第58回全国研究大会ちば大会について
- その他

平成21年6月10日 テレビ局へ 配慮に関する要請書

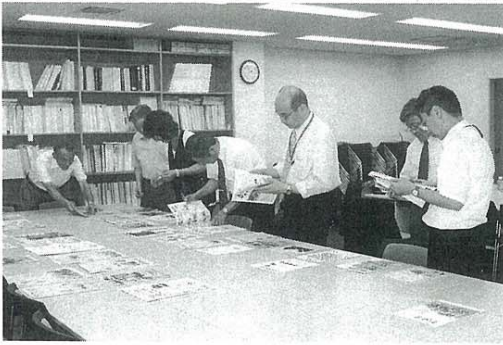
社団法人日本PTA全国協議会、全国地方協議会約17万会館とともに、児童生徒が、家庭や地域での生活や、学校での学習において、十分に人が配慮されれば、経済の成長と技術革新の流れの中で、一台のテレビで家族が集い楽しめた環境から、一家に複数のテレビが置かれ、また、多チャンネル、文字放送やウェブ等個人のニーズにより重畳に放送がヒスがなされてきています。平成20年度も、子どもたちは番組が別番組のような結果になりました。子どもにとって好まない番組に関しては、第一義的保護者の責任であるとの認識は十分に理解した上で、番組制作会社、放送会社におかれましては、人権の観点から健全な社会を構成する責任は保護者と同じと考えます。人格形成期の児童生徒に関するテレビメディアの及び影響は大きく、今後さらに、携帯等インターネット機能を持つ端末テレビメディアの普及がなると、中、有線情報に子どもがさらされる危険が増えることは懸念できません。自由な日本であるために、表現の自由を尊重しつつも、現状を鑑み児童生徒の健全育成を妨げないよう、放送各社、制作会社に左記の事項を強く要請いたします。

記

一、番組の製作及び放送にあたり、テレビメディアの影響を、テレビ局の社会的責任を充分に認識され、今回の調査の結果を真摯に受け止め、今後の番組放送に反映させたい。二、番組のなかで、児童生徒を誹謗中傷し、煽動や有害サイト等の情報を教養娯楽の浄化の視から配慮を求めたい。三、メディアリテラシーの重要性を認識し、視聴者と双方向性を持つ議論を深めたい。

第31回全国小・中学校PTA

広報紙コンクール



審査風景

文部科学大臣賞受賞広報紙

鹿児島市立広木小学校PTA ひろき
富山市立山室中学校PTA やまむろ

7月8日、日本PTA会
議室において第31回広報紙
コンクールの最終審査が行
われた。

審査対象は、平成20年度
中に発行された広報紙で年
2回以上は発行されたも
の。

応募総数は1914校。
(小学校499校、中
学
校1902校)

PTA広報紙のもつ目
的・使命・記事・編集・レ
イアウト・見出し・文章な
どを審査基準に基づき総合
的に審査した。各都道府県
Pでの第1次審査を通過し
た58校(小学校343
校、中学校215校)の中
から第2次審査、第3次審
査を経て、優秀広報紙下
表)が決定した。

表彰式は8月21日、日
全国研究大会、みやぎ大会
にて行われる。

【小学校の部】

企画テーマは
拡散傾向に

日本教育新聞社編集局
報道部長 矢吹 正徳

総数約4300校が応募
し、最終審査の結果、文部
科学大臣賞から佳作まで21
校の作品の入賞が決まりま
した。最終審査にいたる過
程では、選に残すかどうか
苦戦の選択を迫られること
も多々ありましたが、総合
的に評価した結果、他のP
TAの範になるような広報
紙(誌)の作品群が揃った
のではないかと思います。

日頃の各PTA活動の一端
が伝わる。

【中学校の部】

特集企画には
Pの視点を

教育家庭新聞社
企画編集部長 菊池 清広

手書き、手製の冊子
雑誌スタイルから、タプロ
イドサイトの本格的な新聞
スタイルまで、体裁も内容
もバラエティ豊か。小学校
に比べ、中学は、新聞サイ
ルが多いようす。

この広報紙もPTA行
事、学校行事の話題と同等
以上に「特集」の編集に力
を入れて、今回はほとんど
が「情報環境、ケータイ、
「食育、早起き・朝
ごはん」を取り上げていま
した。まず我が校の実態を
知ることが先決なのでしょ
う、「ケータイを持ってい

に接する機会を得ることが
できたことを感謝します。
全体として、紙面的に、
学校便りや不明な傾向が
年々顕著になってきているよう
です。少なくとも、PTA活
動を中心とした紙面が望ま
れています。その意味から
も、入選した各広報紙は、
そのバランスなども良く取
られていました。

お小遣いや親子のコミュ
ニケーションなどは定着化
した一方、多数表れるテ
マはなく、拡散していま
す。

例えば、家庭学習のあり
方に焦点を当てたものや、
身近な環境の取り組み、食
をテーマにしたものなど
です。

食の問題では、子どもに
身近な給食を取り上げ、調
理過程をこまやかに紙面化
しているものが目立ち、親
世代の給食へのメタリジ
ムも含めて関心が高いこと
が感じられました。

周年事業を取り上げたい
くつかの紙面ではそのテン
ション、クオリティの高さ
がありました。難しいこと
は思いますが、日替的な紙
面づくりに同様のパワ
ーとして紙面が提供できる
のではないのでしょうか。次
回、どんな紙面に出会える
か楽しみにしています。

情報が少ないことです。
審査過程でも「これは学校
の新聞では」と二回が首
をかしげた場面が何度かあ
りました。修学旅行、体育
祭・文化祭などの学校行事
や進路実績の報告が目につ
く、中には部活の成績発表
に何頁もの紙面を費やした
広報紙もありました。

同じように学校行事をメ
インにしよう、そこでPTA
Aがどのように関わったか
を「裏方取材」で取り上げ
た紙面がありました。是非、
他でも取り入れてみた
ら良いでしょう。単純に優
劣を競うことがコンクール
の目的ではありません。良
い企画やレイアウト、気
かなかつた視点からの切り
口など、他紙から真似られ
るところは、食欲に吸収す
るようにしましょう。

「P.T.A.活動に関する
もう一つの、もったいな
い」は、P.T.A.活動に関する

「P.T.A.活動に関する
もう一つの、もったいな
い」は、P.T.A.活動に関する

おめでとう！広報紙コンクール入賞作品

賞	小学校PTAの部	中学校PTAの部
文部科学大臣賞	《ひろき》鹿児島県鹿児島市立広木小学校PTA	《やまむろ》富山県富山市立山室中学校PTA
日本PTA全国協議会長賞	《まつばら》山形県酒田市立松原小学校PTA	《きらめき》宮城県登米市立南方中学校PTA
日本教育新聞社社長賞	《やまた》横浜市立山田小学校PTA	《向陽だより》東京都杉並区立向陽中学校PTA
教育家庭新聞社社長賞	《あおい》静岡県静岡市立葵小学校PTA	《紫峰》茨城県土浦市立都和中学校PTA
企画賞	《こんにちは》北海道帯広市立啓北小学校PTA	《大樹》福島県いわき市立平第一中学校PTA
写真賞	《わかあゆ》鳥取県伯耆町立岸本小学校PTA	《西中PTAだより》神奈川県秦野市立西中学校PTA
レイアウト賞	《かもいけ》鹿児島県鹿児島市立鴨池小学校PTA	《松原》福岡県大牟田市立松原中学校父母教師会
佳作	《さんまる》茨城県水戸市立三の丸小学校PTA	《つちや》さいたま市土屋中学校PTA
	《すみれニュースこのゆびと一まれ》横浜市立すみれが丘小学校PTA	《森》岐阜県岐阜市立長森中学校PTA
	《夕のかおり》高知県高知市立春野東小学校PTA	《いちじょう》栃木県宇都宮市立一条中学校PTA
	《明理》富山県魚津市立大町小学校PTA	《わさだ》大分県大分市立植田中学校PTA
	《つのみね》宮崎県日南市立油津小学校PTA	《追遠》青森県八戸市立三条中学校保護者と教師の会
	《五代》栃木県宇都宮市立五代小学校PTA	《さくら》宮城県大町立大和中学校PTA
	《伊小PTA》長野県飯田市立伊賀良小学校PTA	《はくちょう》茨城県笠間市立友部中学校PTA
	《横川っ子》愛知県半田市立横川小学校PTA	《広報東風》群馬県太田市立城東中学校PTA
	《有成》富山県富山市立堀川小学校有成会	《丹沢の風》神奈川県秦野市立本町中学校PTA
	《順化》福井県福井市順化小学校PTA	《葦東中PTA新聞》山梨県韮崎市立葦崎東中学校PTA
《おおひらき》大阪市立大開小学校PTA	《北条中PTA会報》鳥取県北条町立北条中学校PTA	
《わかば》兵庫県西宮市立北六甲台小学校PTA	《ひろばこなん》島根県松江市立湖南中学校PTA	
《PTAのあゆみ》島根県浜田市立周布小学校PTA	《育友会会報 鶴谷》大分県佐伯市立鶴谷中学校PTA	
《せせらぎ》福岡県福岡市立弁城小学校PTA	《紫原》鹿児島県鹿児島市立紫原中学校PTA	

平成20年度

子どもとメディアに関する意識調査

調査結果報告(概要)

平成20年度に行ったメディアに関するアンケート調査「子どもとメディア」に関する意識調査は、青少年の健全育成を目的に平成14年度から継続して実施しているもので、小学5年生・中学2年生合計で3,894人、保護者合計で3,610人の回答結果である。

内容は、子どものテレビ視聴状況、マンガの購読状況、ゲームの所有状況と遊び方、携帯電話、PHSの所有状況と利用内容の実態についてである。

本調査の中で、子どもの社会環境で、親たちが今いちばん困っていることは何かの間に、大人や親のモラルの低下、遊び場の少なさ(「犯罪への不安」と「情報教育」に関する「分」の悪影響、携帯、インターネットの不安などをまとめたもの)がいちばん多く、4割を占めていた。

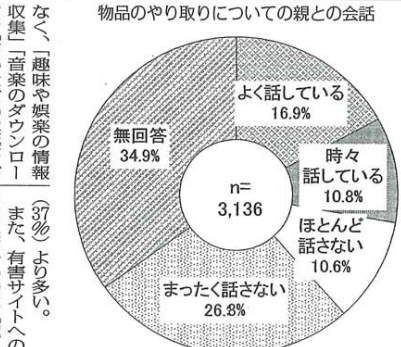
この点からも、情報が氾濫している現代社会への対応に苦慮している親を中心とする社会が垣間見える。そこで、今回はインターネットを中心にパソコンについての結果を報告する。

調査目的 常に変遷し続ける社会と生活形態とつなげ、情報通信社会を生きる子どもに「コミュニケーション」および「学び」の方法の変化について考えるための資料となること。

調査対象 全国の小学5年生、中学2年生とその保護者。

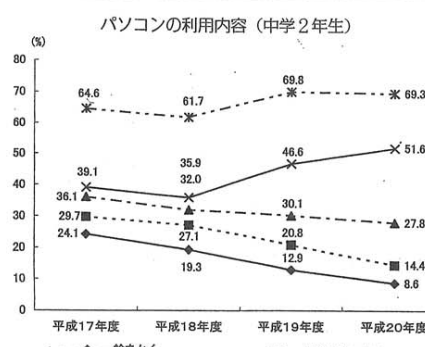
調査方法 地方協議会(6)を通じて対象者を出し、調査票を配布・回収(本人が調査票を封入・封緘した上で回収)。

調査期間 平成20年11月10日(月)～平成20年11月24日(月) パソコンの利用についての調査



物品のやり取りについての親との会話 なく「趣味や娯楽の情報収集」「音楽のダウンロード」占いの娯楽がインターネットは便利であるが、陰もある。その一つが有書サイトの閲覧や物品のやり取りである。物品のやり取りでは小学生で約24%、無回答約76%、中学生では約42%、無回答約59%であるが、この物品のやり取りを「親に話していない」者は38%、話さない者が10ポイント多い。中学生のインターネット利用についての会話でも話さない者は46%と話さず、中学生では「親」と同

く。また、有書サイトのアクセスで多いのは「他人の悪口や不快な言葉が出てくるもの」「暴力的な描写や残虐な画像が出てくるもの」「デジタル画像など性別の描写があるもの」「出会い系サイトに関係するもの」であり、中学生では8%から18%になる。このように「便利」と「陰」を持ち合わせるインターネットであるが、その危険性やマナーについて誰に教わったか聞いたところ小学生でも「親」と答えた人が一番多い。ただ話さない者は46%と話さず、中学生では「親」と同



ゲームや携帯、パソコンは子どもたちの世界では必需品になりつつある。だから、親たちは関心を持ち、子育てで困るこの上位にある。注目すべきは親たちの家庭内のルールづくりが増加してきていることである。学校の教師の頭振りも同化した。

福岡県PTA連合会 家庭教育支援事業 「新」家庭教育宣言 親子で挑戦してみませんか? 宣言(例) 親子で挑戦! 子どもの実践に合わせて決めましょう

福岡県PTA連合会 会長 坂井 恵亮 「教育の原点は家庭から」 福岡県PTA連合会 会長 坂井 恵亮 「教育の原点は家庭から」 福岡県PTA連合会 会長 坂井 恵亮

第24回「日中友好少年少女の翼」

中学2年生105名が参加

平成21年3月26日～31日

日中友好「少年少女の交流を深め、お互いの視野を広げ、自立性人になったことを契機に開翼事業は、国際社会にふさわしい心豊かな人間形成を促進する」という目的を掲げ、国際社会にふさわしい心豊かな人間形成を促進する。また、日本の文化・文明の源を高め、創造性を養うため、平成20年度から、中国の歴史や伝統を学ぶ。また、中国の歴史や伝統を学ぶ。また、中国の歴史や伝統を学ぶ。また、中国の歴史や伝統を学ぶ。

学校の窓から シリーズ④

【本校の概要】

本校は、東京都の東西南北のほぼ中心に位置する。今年度で創立53年目を迎える歴史と伝統のある学校である。学級数は、普通学級各学年4学級、特別支援学級3学級、計15学級、生徒数422名、教職員数55名の中規模校である。

【特色ある教育活動】

本校には、他校にあまり例のない学校行事がいくつかある。その一つは、立春式である。今から41年前に、第3代校長が始められたものである。立春式は、昔の正月の元服を迎える年子にあたり、一人前の大人として扱われた年頃になったことのお祝いとして行われていた。心も体も大人に近づいていく14歳という年齢になる2年生が、「自立、立志、健康」をテーマとして、自分の志(こと)を高めることができる。本校では、2つの小学校と連携し、9年間の系統的・継続的なカリキュラムにもとじて学習活動を進め、児童、児童生徒間の相互交流(語学活動や読書活動、交流、児童・生徒交流、中学校体験など)、教員間の相互授受交流(T・T授業、合同研究)を行っている。今年度は、学園の目指す「地域・社会貢献」を軸に、自立する学習態度を身に付け、指導法の工夫・改善を主題として、年間16回の小・中合同の研究会を行う研究を進めていくこととなる。

【教育目標】

本校の教育目標は、昭和32年の開校当初に制定されており、この精神は、長年に亘って脈々と受け継がれてきている。

【教育目標】

明るく平和な文化国家の担い手として、誇りと責任を自覚し世界に開かれた日本人を育成する。

- 考える人
- 心豊かな人
- たくましく人
- 思いやりのある人
- 公共につきず人



北京オリンピックメイン会場の鳥の巣

生を中心にして3名、多くの保護者の方にもご参加いただき、3月26日成田のホテルでの結団式を無事終え、翌7日気な笑顔の子もまた中国北京に旅立ちました。

4日目は、毎年訪れている北京師範大学第一附属中学校を訪問し同じ年生と交流、午前中は学校へ訪問し中国の中学校を体験、午後にはホテルへお越しして交流会、ちょっとした時間でも素晴らしい心の絆が出来、別れを惜しんでいました。中国の壮大な歴史を学ぶ機会として、2日目、3日目にラストエンペラーの名残や芸術家などが生まれるのかなど頭張り感動させられていました。

緑の募金

緑の募金でふせごう 地球温暖化

(財)国土緑化推進機構

国土緑化推進機構と都道府県緑化推進委員会は、9月1日から10月31日まで、ともに2010年国際生緑の募金活動を実施します。今年度は、京都市議定書の第一約束期間が2年目を迎えます。



「緑の募金」を通じた森林づくりが、地球温暖化の防止、国土の再生、学校の緑化、海外の砂漠化の防止などに果たす役割をご理解頂き、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

詳しくは、0120-110038

緑の募金では、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、水源の保全、子どもの環境教育、開伐の促進などの課題解決に向けて、先駆的・先導的な活動として、さまざまな分野の人たちが参加できる取り組みを支援しています。

東大阪市立上四条小学校

未来へつなぐ「上四の森」を「うすの森」(大阪)交流の場所として、授業や課外活動の場として、さまざまな人たちが集まる森を創ろう。

「緑の募金」を通じて、先生方から歩いて15分の裏山に子どもたち・保護者・教師が協力して森づくりをすすめています。その中心となるのが、PTAのみならず、PTAのみなさんや「緑の募金」の活動を通して、

新学習指導要領の円滑な実施に向けて

●新学習指導要領の先行実施について
 文部科学省では、昨年3月に小・中学校の学習指導要領の改訂を、本年3月に高等学校・特別支援学校の学習指導要領等も改訂しました。小・中学校の新学習指導要領では、例えは、①全ての教科を通じた言語活動の重視、②算数・数学理科での授業時数や指導内容の充実及び観察・実験の重視、③国語における古典に関する学習の充実、④中学校での武道の必修化、⑤小・中学校での外国語活動の導入、などといった教育内容の改善を行ってまいります。

●新学習指導要領の先行実施について
 文部科学省では、平成21年度から、中学校では平成22年度から、小学校では平成23年度から、それぞれ新学習指導要領の改訂を、本年3月に高等学校・特別支援学校の学習指導要領等も改訂しました。小・中学校の新学習指導要領では、例えは、①全ての教科を通じた言語活動の重視、②算数・数学理科での授業時数や指導内容の充実及び観察・実験の重視、③国語における古典に関する学習の充実、④中学校での武道の必修化、⑤小・中学校での外国語活動の導入、などといった教育内容の改善を行ってまいります。

●新学習指導要領の先行実施について
 文部科学省では、平成21年度から、中学校では平成22年度から、小学校では平成23年度から、それぞれ新学習指導要領の改訂を、本年3月に高等学校・特別支援学校の学習指導要領等も改訂しました。小・中学校の新学習指導要領では、例えは、①全ての教科を通じた言語活動の重視、②算数・数学理科での授業時数や指導内容の充実及び観察・実験の重視、③国語における古典に関する学習の充実、④中学校での武道の必修化、⑤小・中学校での外国語活動の導入、などといった教育内容の改善を行ってまいります。

環境を考慮した学校施設 (エコスクール) づくりの推進

●エコスクールづくりの推進
 学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。校舎や校地の各部について、エコスクールづくりを行うことは、子どもたちの環境問題に対する興味・関心を喚起され、また、生きた教材として体験的な環境教育に活用できるなど、環境保護の意識の増進のための取組として重要です。

●エコスクールづくりの推進
 学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。校舎や校地の各部について、エコスクールづくりを行うことは、子どもたちの環境問題に対する興味・関心を喚起され、また、生きた教材として体験的な環境教育に活用できるなど、環境保護の意識の増進のための取組として重要です。

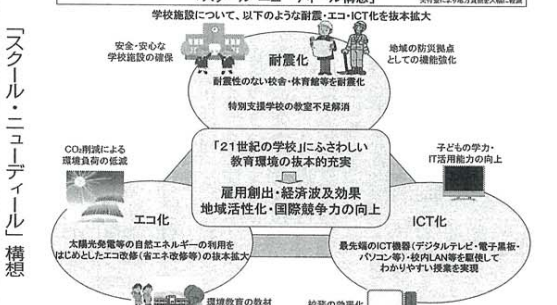
●エコスクールづくりの推進
 学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。校舎や校地の各部について、エコスクールづくりを行うことは、子どもたちの環境問題に対する興味・関心を喚起され、また、生きた教材として体験的な環境教育に活用できるなど、環境保護の意識の増進のための取組として重要です。

「みんなで支える学校 みんなで育てる子ども」

●学校支援地域本部事業
 文部科学省では、平成20年度より、地域全体で学校に必要な活動を支援する体制を整備する「学校支援地域本部事業」を実施しています。これは、地域の方々をボランティアとして派遣する組織を、学校が中心となってつくりだすことにより、学校の活動を支援し、子どもたちの学習環境を整えることなどが目的です。

●学校支援地域本部事業
 文部科学省では、平成20年度より、地域全体で学校に必要な活動を支援する体制を整備する「学校支援地域本部事業」を実施しています。これは、地域の方々をボランティアとして派遣する組織を、学校が中心となってつくりだすことにより、学校の活動を支援し、子どもたちの学習環境を整えることなどが目的です。

●学校支援地域本部事業
 文部科学省では、平成20年度より、地域全体で学校に必要な活動を支援する体制を整備する「学校支援地域本部事業」を実施しています。これは、地域の方々をボランティアとして派遣する組織を、学校が中心となってつくりだすことにより、学校の活動を支援し、子どもたちの学習環境を整えることなどが目的です。



●「スクール・ニューティール」構想
 学校施設における耐震・エコ・ICT化の推進「スクール・ニューティール」構想。この構想は、安全・安心な学校施設の確保、耐震性の高い校舎・体育館等耐震化、CO2削減による環境負荷の低減、最先端のICT機器の活用、地域の防災拠点としての機能強化、子どもの学力・活用能力の向上などを推進するものです。

●「スクール・ニューティール」構想
 学校施設における耐震・エコ・ICT化の推進「スクール・ニューティール」構想。この構想は、安全・安心な学校施設の確保、耐震性の高い校舎・体育館等耐震化、CO2削減による環境負荷の低減、最先端のICT機器の活用、地域の防災拠点としての機能強化、子どもの学力・活用能力の向上などを推進するものです。

●「スクール・ニューティール」構想
 学校施設における耐震・エコ・ICT化の推進「スクール・ニューティール」構想。この構想は、安全・安心な学校施設の確保、耐震性の高い校舎・体育館等耐震化、CO2削減による環境負荷の低減、最先端のICT機器の活用、地域の防災拠点としての機能強化、子どもの学力・活用能力の向上などを推進するものです。



●お問い合わせ先
 文部科学省 生涯学習政策局 社会教育部
 地域・学校支援推進室
 電話：03-6734-3300 (直通)
 メール：school-v@met.go.jp

学校のICT化について

文部科学省は、平一タを児童生徒5、6人に成り年度補正予算に教育環境の整備を推進する「デジタル化」の目標を掲げている...

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes '事業の予算概要' and '学校情報通信技術環境整備事業費補助金等'.

文化庁より

夏休み トークラリー 東京国立近代美術館本館の夏休み向け鑑賞プログラムの紹介...

光 松本陽子/野口里佳 会期：8月19日、10月19日(毎日火曜休館)...

特別展 シルクロード 文字を辿って 会期：7月14日(火)～9月6日(日)...

特別展 国宝 阿修羅展 会期：7月14日(火)～9月27日(日)...

国立新美術館 http://www.nac.jp/

子どももアート展

「子どももアート展」展覧会のご案内...

夏休み！日本美術のつくり方 会期：7月28日(火)～9月6日(日)...

特別展 聖地聖波 日本 会期：7月18日(土)～8月30日(日)...

特別展 聖地聖波 日本 会期：7月18日(土)～8月30日(日)...

消費者教育・金融経済教育について

昨今、食の安全に関する問題や消費者トラブル等、消費者問題に対する国民の関心が高まっており、政府においても消費者庁の発足が予定されています...

- ご活用いただける資料・講座等
資料
○金融広報中央委員会「知るほると」(http://www.shinporuto.jp)
○小・中学校学習指導要領(平成20年3月改訂)

著作権法の一部改正について

インターネットが普及し、簡単に音楽や映像を入手できるようになりましたが、ネット上には違法コピーが数多く出回り、正規配信音楽を駆逐するなどの問題が生じています...

みやぎ大会

向き合おう！ まっすぐに
語り合おう！ 子どもの未来のために

第57回

日本PTA

全国研究大会

2009年
8月21日(金)
22日(土)

海あり、山あり、平野あり「緑豊かな豊饒の地宮城県で第57回日本PTA全国研究大会・みやぎ大会を開催されます。

大会日程

○8月21日(金) 分科会
宮城県11会場
○8月22日(土) 全体会
セキスイハイムスーパーアリーナ
高城豊総合体育館
(グランテイ・2)

各分科会

◆第1分科会 (組織・運営) PTAとは何なの？…難だろ？…駄目なの？

◆第2分科会 (家庭教育)

家庭の果たす役割と「早寝・早起き・朝ごはん」

◆第3分科会 (学校教育)

子どもたちが確かな「生きる力」を育むためのPTA活動

◆第4分科会 (情報活動)

脳科学がもたらした早寝・早起き・朝ごはんの大切さ

情報社会に対応し、より効果的な情報活動
◆第7分科会 (国際理解)
つなげよう心の輪 みつめよう世界の国々 子どもたちの未来のために
◆第8分科会 (健康安全・食育)
生活の基本である食の原点を考え、食を通して健全な子どもたちを育てよう！
◆第9分科会 (環境教育)
受け継がれてきた自然、生活環境を大切に、未来につなぐ地域社会を創ろう
特別第1分科会 (日本PTA・民放連)

全体記念講演

医学博士・東北大学教授
川島 隆太氏

脳科学がもたらした早寝・早起き・朝ごはんの大切さ

シンボルマークの説明

全国のPTAの皆さんが、2009年度に宮城県に集まり心を繋いで描きました。特に頑張ったところは、宮城県の形をかいたところ。 蔵王町田田小学校 6年生 伊藤有穂さん



「あるPTA会長の日記から」

今、PTA役員離れを懸が起っています。よく言われます。委員 このような時期だからなんて出来ません。ましてや役員なんてごんでもない。と、大変なことが、不況にハマりながら、しんどい日々を過ごしている。高専校長から聞いた話、それはわかればならぬ競争社会からPTA活動をどうしたいか、という言葉のみが一人歩きして、個人を大切にすることが、PTAに繋がって来たらいいなと胸を張って言えます。それはPTAに繋がらなければ出会うことが出来た多くの仲間とのネットワークが出来たからです。今、子どもたちを取り巻く環境はITの発達、24時間社会の到来と環境の急激な変化により、大人社会の影響をすべて受けてきました。また、影響を受けただけでなく、子どもたちを誘って、感心し誘い込め大人社会のモデルにも大きな問題で、解決に向けて、さまざま研究努力がなされています。対策を越えていますが、対策を越えるスピードで新たな問題が起っています。

PTAは地域づくりの「源」

を通して地域社会活動への参加をはじめることになり。その体験を通して地域の教育力向上に役を担うことになるのです。まさしく、PTAは地域づくりの源です。そこで、学校での我が子を取り巻く環境に関心をもち、①学校と連携し、学校教育の充実のために、学校教育の諸々の環境を良くしていくことと活動する。②地域の皆様と理解と協力をいただき、子どもの登下校、校外への行動、地域行事への参加等、地域活動を共に感じます。しかし、現代は一人の力では何も出来ない社会なので、何にも助け合って、励ましあって、心豊かな子どもを育てたいという社会を創ることを考えたければならないのではないのでしょうか。保護者同士が協力し合う関係づくり、連携し合う関係づくりを進め、同時にPTA活動する。

日P推薦映画

ぼくとママの黄色い自転車
○(開)ティ・ジョイ
○推薦)小学・中学・青年



成人・家庭向け
小学3年生の沖田大志は、父と二人暮らし。彼はパリに留学中の母から毎週届く手紙を楽しみだしてま

した。でも夏休みのある大志は母がパリでなく、実は瀬戸内海の小豆島にいるのを知ります。どうして母に会いなればと思った大志は、母にももらった黄色い自転車で、愛犬のアンを連れて横浜の家から500kmもある小豆島に、たった一人て初めての冒険の旅立ちました。



ている映画です。親子の絆と少年の成長が私たちに感
動を運んでくれます。

でも、彼はまだ知らず病を患った母が彼を愛するが故に彼の前から去っていったことを……。美しい風景と人の優しさが愛に包まれる

○乗映舎 (推薦) 中学・青年・成人
家庭向け
思春期の少女の成長を描く、春のように暖かい感動物が、誰かが味わう思春期の不安や奇しさを、まさにその真っ真中にいる少女が、一人の視点から描く少年と出

- 稲村文子
- 鎌倉由美
- 宮本和夫
- 佐藤美香
- 鈴木由香
- ◆広報委員会
- 濱野幸江 (委員長)
- 山崎順雄
- 中田泰幸子
- 中田奈奈子
- 大和久清子
- 奥田七代
- 川口敦子



そよ風通信

通学路の繁華化に足る止め、鮮やかな色に心を和ませます。新年度がスタートし、広報委員会にも頂き、活用していただけました。編纂作業が始まりました。